

あとがき

<編集顧問> <編集委員>

越智隆弘	糸満盛憲
小野啓郎	荻野利彦
竹光義治	菊地臣一
守屋秀繁	黒坂昌弘
山室隆夫	清水克時
矢部 裕	高岸憲二
	富田勝郎
	戸山芳昭
	吉川 秀樹

<編集同人>

井形高明	澤村 誠志
生田義和	杉岡洋一
井樋栄二	田辺剛造
岩田 久	田畑四郎
岩本幸英	玉置哲也
大井利夫	中村耕三
小野村敏信	馬場久敏
加藤博之	浜西千秋
金田清志	廣谷速人
黒川高秀	佛淵孝夫
腰野富久	三笠元彦
紺野慎一	三浦隆行
櫛田喜三郎	持田讓治
酒 匂 崇	山田治基
桜井 実	吉川靖三

北京オリンピックで日本選手は北島選手が平泳ぎ 100 m, 200 m の二冠を達成し、女子ソフトボールの金メダル、陸上で 400 m リレーでの銅メダルなどをとり、テレビの前に釘付けになられた方も多いと思います。それが終わった後、日本列島は記録的豪雨に見舞われました。今日は長く続いた雨もようやくあがり、晴天になりました。記録的な雷雨で、数時間落雷が続き、夜眠れませんでした。アメリカにはカリブ海に大きなハリケーン「アイク」が発生して、地球温暖化の影響が問題視されています。

今回の「視座」は国立身体障害者リハビリテーションセンターの岩谷力先生が「Locomotive syndrome(ロコモ)」について書かれています。皆さんにとってあまりなじみのない言葉かもしれませんが、内科の metabolic syndrome と並んで介護予防の柱としてその予防、治療への取り組むことが提唱されています。その定義は「運動器疾患に起因するとじこもり、寝たきりを防ぎ、運動器の障害により要介護になるリスクの高い状態や運動器が障害を受けつつある状態」と述べられています。「ロコモ」は機能に注目した概念で、この研究が進むと新たな病理学的疾患概念が産まれるかもしれないと結ばれています。運動器のプロとして整形外科医が関与できる分野ですので、大いに期待しています。

誌上シンポジウムは「発育期大腿骨頭の壊死性病変への対応」と題してペルテス病などの症候性骨壊死症に対する治療についてソルター手術、長期免荷、骨切り術などの結果が取り上げられています。北先生は、発育期大腿骨頭の壊死性病変は成人に比べかなり修復が期待できるので、できるだけ早期に診断して免荷により圧潰を防ぎつつ修復を待つことを勧めています。

「論述」では、短期間で終わる脊椎手術には術前抗菌薬単独投与のみにより術後感染率、耐性菌出現率が低値を示すことが述べられています。このほか、「臨床経験」や「症例報告」など楽しい報告が満載です。

(高岸憲二)

臨床整形外科 (第43巻 第10号)

2008年10月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

2008 年ぎめ予約購読料 29,400 円
(配送料弊社負担)

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株)

電話 (03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社

電話 (03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JICLS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。